



スーパー グローバル ハイスクール

佐高 SGH通信 2017

No. 10 (平成29年6月23日発行)

中1 SGH リレー講座

足尾での校外学習

6月15日(木)、中学1年生は、足尾で校外学習を行いました。まず、足尾環境学習センターで足尾銅山の歴史や鉱毒問題、田中正造についての様々な展示を見学した後、鉱毒により失われた森林をよみがえらせるために、**植樹**を行いました。

植樹に先立ち、国土交通省の職員の方から、当時の足尾鉱毒の被害について詳しいお話を聞ききました。その後、山の斜面に移動し、みんなで力を合わせて10本の樹を植えました。

今回の足尾での校外学習を通して、足尾鉱毒問題を実感するとともに、その解決を目指していた田中正造の精神が今も引き継がれていることを知りました。私たちが目標とする「**田中正造型**」**グローバルリーダー**に一步近づけたと感じています。



〈足尾環境学習センターを訪問しての生徒の感想〉

山口 敏弥くん(中1-1)

当時の公害について重く考えなかった工場や廃棄物の適切な処理の仕方、大洪水で被害を受けたたくさんの農作物を資料館で見学し、公害について知ることができました。これからも身近な公害について考えていきたいと思ひます。

慶野 正汰くん(中1-2)

映像や立体模型から、足尾について詳しく知ることができました。特に、銅山の掘られた坑道の長さが東京から博多までの距離と同じであることが心に残りました。また、当時の人々の思いを感じることができました。

阿部 恭介くん(中1-3)

砂防ダムの大切さや流路工の役割などを学ぶことができました。また、足尾銅山の長さや松木峡谷が日本のグランドキャニオンと呼ばれていることを知りました。知らなかったことを知る良い機会となりました。

〈植樹を体験しての生徒の感想〉

千葉 愛莉さん(中1-1)

足尾鉱毒事件から100年以上たった今でも山肌が多く見られることに驚きました。胸が痛くなるような話もありが、植樹体験を通して、足尾に緑を取り戻そうと思ひ人がとても増えたのではないかと思ひます。

石川 珠生さん(中1-2)

自分の手で木を植え、緑を守ることの大切さを学ぶことができました。私は、「緑を壊すことは簡単だが、豊かにすることは難しい。」という言葉が心に残っています。これからもこのような活動を大切にしていきたいです。

飯塚 莉子さん(中1-3)

昔は木の生えていない山が2500haあったそうですが、現在はその半分になったことを知り、長い年月をかけて植樹をしてきたんだと感じました。そして、改めて自然の大切さに気づくことができました。